

## 沿革史(令和8年4月1日現在)

### 【京都市立旭丘中学校沿革史】

S22.5.5 京都市立待鳳中学校創立。

通学区域 鷹峯・待鳳・鳳徳・紫竹の4校区

京都市上京区紫竹西北町49番地 待鳳小学校内に併設

橋本 栄次郎 初代校長に就任する。

S23.4.1 分離独立する。

鳳徳学区の男子生徒は私立烏丸中学校に、

女子は私立成安中学校に委託

他学区の3年生は男女とも翔鸞中学校に編入収容

S23.10.21 京都市上京区紫野蓮台野町1番地に新校舎建設を決定する。

S24.4.15 新校舎に於いて開校式及び入学式を挙げる。

委託生、編入生復帰。

S25.1.1 校名を京都市立旭丘中学校と改称する。

S25.10.13 校歌および校章を制定する。

S31.4.1 通学区域 鷹峯・待鳳・鳳徳の3校区となる

S37.4.8 育成学級設置。

S47.11.17 京都市教育委員会指定、同和教育・学枚保健研究報告会

S57.3.26 第1回リーダー養成講習会を志摩半島みさきの家にて実施。

S58.5.13～15 修学旅行の行事から新しい3年生宿泊体験学習の実施(蒜山高原)

S59.11. 保護者のための「旭丘教育の手引」発行

S60.4. 入学生よりプレーザー型の新通学服に切替える。

S63.11. 第38回全国学校保健研究大会(長野市)で、文部大臣表彰を受ける。

H1.2. 昭和62、63年度研究指定「フレンドリー活動」の研究発表

H2.11. 憩いの広場「かがやく丘」PTAにより整備

H4.4. 研究指定「コンピュータを利用した健康教育」

H9.3. グラウンド全面改修

H9.5. 創立50周年を迎える

H11.12. グリーンベルト整備事業

H12.9. 北校舎1階『快適トイレ』(全自動)整備事業

H13.9. 配膳室、いきいき交流ルーム整備。

H13.11. 選択制中学校給食開始

H13.12. 北校舎廊下、教室出入口スロープ設置

H14.8. 職員室配線・電灯増設、天井、壁塗り替え

H14.10. 図書室エアコン設置

- H15.8. 図書室床をフローリング。第2図書室整備
- H15.10. 「旭中ボランティアねっと」事務局整備
- H16.4.1 研究指定「評価規準、評価方法の工夫改善に関する研究(美術・英語)」
- H16.6. 本館、北校舎階段に手すり設置
- H17.3. 音楽室床をフローリング整備
- H17. 教科学習目標「確かな学びの手引き」発行
- H17.4. 宿泊学習会を沖縄で実施
- H18.3. 校内 LAN 整備
- H19.6. 旭中校区小中連携取組「HATT コンチネント・プラン」立ち上げ
- H20.3. 給水設備改修
- H20.9. グラウンド防球ネット嵩上げ工事
- H22.4. 校舎耐震工事開始
- H26.3. グラウンド防球ネット延長工事
- H26.4. 空調機設置工事開始
- H26.7. 空調機設置工事完成
- H27.4. 京都市教育委員会指定「しなやかな道徳」「豊かな学びリーディングスクール(数学)」推進事業
- H27.10. プール改修工事開始
- H28.3. プール改修工事完成
- H29.1. 文部科学省指定「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究発表
- H31.1. 京都市教育委員会指定「新学習指導要領の実施に向けた実践研究事業」研究発表
- R2.11. 令和元年度 国立教育政策研究所指定「学習指導要領の趣旨を実現するための学習・指導方法及び評価方法の工夫改善に関する実践研究」研究発表
- R3.4. 令和3年度「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践研究事業」1年目
- R4.3. 南校舎トイレ全面改修
- R4.4. 令和3年度「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践研究事業」2年目
- R5.5. 金工室空調機設置
- R6.2. 全校舎「長寿命化計画」立案
- R6.3. 給水設備改修
- R6.3. 第1職員室・第2職員室合併
- R6.12. 北校舎2・3・4階トイレ改修
- R7.3. 正門前スロープ改修
- R7.3. 北校舎北側入口整備
- R7.8. 北校舎1階全トイレ洋式化
- R7.9. 全校舎「長寿命化計画」設計開始

R7.10. 「令和7年度京都市子どもの読書活動優秀実践団体表彰(市長賞)」受賞

R7.11. 東門付近 防犯カメラ設置

R8.3. グラウンド南側ブロック塀撤去・フェンス設置

R8.4. 京都市教育委員会指定「しなやかな道徳」推進事業

#### ■歴代校長

初代 橋本栄次郎(S22.5.5～)

二代 北畑紀一郎(S29.4.1～)

三代 池田誠一郎(S29.5.20～)

四代 松本 正男(S29.6.1～)

五代 由水 茂(S31.4.1～)

六代 松下 建市(S31.4.8～)

七代 寺田 昌(S35.4.1～)

八代 今堀 二郎(S41.4.1～)

九代 溝淵 幸助(S47.4.1～)

十代 松本 一郎(S50.4.1～)

十一代 三増 雅一(S54.4.1～)

十二代 池田 英宗(S56.4.1～)

十三代 都木 國臣(S62.4.1～)

十四代 吉野 昌彦(H4.4.1～)

十五代 長谷川浩三(H6.7～)

十六代 早川 俊治(H7.4.1～)

十七代 長谷川 力(H13.4.1～)

十八代 大橋 忠司(H16.4.1～)

十九代 杉村 賢司(H19.4.1～)

二十代 安達 要(H23.4.1～)

二十一代 村田 博哉(H24.12.10～)

二十二代 吉川 康浩(H27.4.1～)

二十三代 弓場 宏純(H29.4.1～)

二十四代 梅野 正之(R02.4.1～)

二十五代 谷川 玲子(R05.4.1～)

二十六代 小西 信行(R08.4.1～)